

学 術

ワンヘルス連携シンポジウム開催のご案内

北海道歯科医師会と北海道獣医師会は、学術協力推進に関する協定を締結した記念としてシンポジウムを開催いたします。受講を希望される場合は、申込方法を確認のうえ、ご参加ください。

日 時／令和7年11月1日（土）16：00～18：00

配信会場／北海道歯科医師会館（札幌市中央区北1条東9丁目11番地）

【プログラム（予定）】

講 演Ⅰ「ヒトの歯周病の基礎と臨床～獣医師と歯科医師をつなぐ～」

北海道歯科医師会 常務理事 河野崇志

講 演Ⅱ「伴侶動物の歯周病の現状と課題」

北海道動物運動器病院&顎口腔外科センター 副院長兼センター長 泉澤 有

講 演Ⅲ「ヒトに感染する注意すべきペットの病原性口腔細菌」

酪農学園大学獣医学群獣医学類 教授 村松康和

特別講演*「口腔細菌と健康」

東京歯科大学 微生物学講座 名誉教授 石原和幸

※第78回北海道歯科学術大会2日目（令和7年8月24日）に「ワンヘルス連携講演」として実施しました。講演のアーカイブは下記QRコードより視聴できます。



（令和7年11月30日まで視聴可能）

【講演会目的】

歯周病は歯周ポケットに侵入した微生物により歯肉炎を起こし、それに加えて歯槽骨を溶解して出血を伴う歯周炎を起こす病態をいいます。歯周関連の自覚症状を示す患者は、65歳未満の成人では概ね15%前後で、65歳以上の高齢者では10%以上といわれ、無自覚の患者を含めると非常に多くの日本人が罹患している国民病といえます。歯周病の進行に伴って、炎症によって産生される毒性物質が全身に入り、糖尿病や心筋梗塞などの全身性疾患の発病にも関与することにも注目されています。歯周病の原因となる細菌は多種知られていますが、特にレッドコンプレックスといわれる、*Tanarella forsythia*、*Torepanema denticola*、*Porphyromonas gingivalis*があります。

一方、私たちの生活になくてはならない存在になっているイヌやネコのペット動物も長寿となり、歯周病が問題視されるようになってきました。ペットの唾液や歯垢からもレッドコンプレックスの微生物が検出されますし、特にペットの歯周病では*Porphyromonas gingivalis*と分子性状が類似する*P. gulae*が主要な原因菌とされています。最近、ペットの80%が飼い主と同じ室内で飼育され、飼い主と濃密に接触しており、ペットと飼い主から同じ歯周病関連菌が検出されるといった報告も出されています。これはワンヘルスの視点から看過できない問題を提示しています。

そこで今回のワンヘルス連携講演会では、ヒトとペットの歯周病に焦点をあてて、その現状や治療・予防についての理解を深め、ワンヘルスの視点から注意すべきことを整理することを目的といたします。

【実施主体】北海道歯科医師会、北海道獣医師会

【受講料】無料

【対象者】北海道歯科医師会会員、北海道獣医師会会員 【申込締切】令和7年10月23日（木）

【申込方法】①オンライン受講、②配信会場受講どちらかの方法にて申込